

奈良 大好き!

楽しめて楽しむ観光ガイド



去る十一月二十六日、なら奈良館では、東大寺を訪れました。なら奈良館では、観光案内のボランティアをしている上田益也さん(六十代)に、「この館のことや奈良のこと、仕事などについて聞きました。

上田さんは、観光名所でガイドをしている人で、この仕事を六年も続けています。「奈良が大好き。きててくれたお客様が喜んでくれたときが一番うれしい」と話します。

上田さんは「奈良がこのまま残ってほしい。いろいろな古いものを大切にしてほしい」と語ります。そんな言葉に、私たちも奈良がこのまま残ってほしいなどいう気持ちになりました。

なら奈良館には、古いものや地図がたくさんあります。それでは、私たちが館内を見たおすすめのベスト五を紹介します。五位は小さな五重塔のレプリカです。まるで本物のようです。四位は土偶。変な形で気持ち悪いけれど、今では見ることができない形です。三位は昔の奈良町の模型です。とてもきれいでました。一位は田つ丘奈良駅舎



上田さん(左)
と大仏の手の
レプリカ(下)



案内してくれた上田さんは、仕事をとても楽しんでいて、すこいと思いました。どうしてそんなに楽しいのだろうかと尋ねました。それは、奈良の楽しさを知っているからです。私たちも、奈良の楽しさを知ることが必要です。

【太田和貴・奥田悠香・津田幹也】

あつた穴の開いた柱です。実際にぐぐることができる、みんなで試してみました。栄光の第一位は東大寺の大仏の手のレプリカです。上田さんもおすすめのもので、原寸大で私たちが両手を広げるよりはるかに幅も広く、大迫力でした。みんなでくつを脱いで乗りました。硬く、ただくと「ボーン」と音が響きました。とても面白く、もっと多くの人になら奈良館に来てほしいと感じました。

案内してくれた上田さんは、仕事をとても楽しんでいて、すこいと思いま

した。どうしてそんなに楽しいのだろうかと尋ねました。それは、奈良の楽しさを知っているからです。私たちも、奈良の楽しさを知ることが必要です。

私は、父の跡を継いでお坊さんになります。お坊さんを七十年以上やっています。仕事をしていくうれしかったのは、大仏殿に来てお参りをしていった人が喜んでくれたときです。これまで一喜悲しかったのは、小学校4年生のとき、お母さんとお別れしたときです。

私の夢は、世界から戦争がなくなること

ました。お寺の歴史について教えてくれました。狭川さんのお話は次の通りです。

私は、父の跡を継いでお坊さんになります。お坊さんを七十年以上やっています。仕事をしていくうれしかったのは、大仏殿に来てお参りをしていった人が喜んでくれたときです。これまで一喜悲しかったのは、小学校4年生のとき、お母さんとお別れしたときです。



長老様に大接近♪

観光客にもインタビュー

寺を建て直しました。二回目に焼けた時は、公慶(こうけい)さんという人が建て直しました。公慶さんが亡くなつてから、もう三百年がたちます。

大仏殿は屋根の重さだけで、人間が三万人分、瓦は十一万枚もあります。たくさんの木が使われていますが、まだまだ木は生きています。とても大きな建物です。子どもたちには、みんな仲良くしてほしいですね。

狭川さんに話を聞いた後、東大寺を訪れていた観光客にお寺や奈良の感想を聞いてみました。



にこやかにインタビューに答えてくれた内山さん

名古屋から来た会社員の内山さんは、「二十六日は「日帰りで紅葉を見に来ました。奈良に来るのは二回目ですが、気に入らないところは全然ありません。趣(おもむき)があるので好きです。奈良に来る人は、シカをいじめたりしないでとお願いしたいですね」と話していました。